

3がつ11にちをわすれないためにセンター

星空と路

これまでの記憶、これからの記録



2019

3/7 [木] — **4/21** [日]

3/12[火]、28[木]は休み

せんだいメディアテーク

入場無料 / 申込不要 / 出入自由

3月11日の星空から8年が過ぎようとしています。

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」の参加者は、技術や経験の有無にかかわらず、震災にまつわる様々なことがらを記録してきました。これらの参加者の記録には震災による被害の状況や変わりゆく地域の姿だけでなく、参加者一人ひとりの想いや言葉が映し出されています。

人びとの想いを次の世代に託そうと、その術を手探し育てようとするひと。

かつてあったまちを、つながりを、記録することであらためて確かめようとするひと。

あの時のあの人に話を聞きたくて、もう一度、カメラを持って会いに行くひと。

震災に対する向き合い方や関心に差が生じてきた今、

彼・彼女らの真摯で逞しい活動とそれらの多様な記録群を通し、

これまでの記憶をふりかえり、現在をかいまみることで、

これからの道のりをともに考える機会になればと思います。



3がつ11にちをわすれないためにセンターとは

せんだいメディアテークは東日本大震災による甚大な影響に対し、ともに向き合い考え、復興への長い道のりを歩き出すため、2011年5月3日に「3がつ11にちをわすれないためにセンター」(略称:わすれん!)を開設しました。わすれん!とは、市民、専門家、アーティスト、スタッフが協働し、独自に復旧・復興のプロセスを記録・発信していくためのプラットフォームです。ビデオカメラ等の技術や経験の有無にかかわらず、趣旨に賛同した人びとが参加者となり、個人個人が体験した「震災」を映像、写真、音声、テキストなどで記録してきました。寄せられた記録は適切な権利処理がなされたのち、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として整理・保存され、ウェブサイトでの公開、ライブラリーへの配架、展示や上映会の開催、さらには記録を囲み語る場づくりなど、さまざまな形で活用されています。「星空と路」もその利活用のひとつで、わすれん!参加者のみなさんの活動と記録群を紹介しています。

smt

主催・問い合わせ：せんだいメディアテーク 企画・活動支援室 3がつ11にちをわすれないためにセンター
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 tel 022-713-4483 fax 022-713-4482
mail office@smt.city.sendai.jp web <https://recorder311.smt.jp/>

助成：公益社団法人企業メセナ協議会 GBFund 芸術・文化による災害復興支援ファンド